

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 11月 1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270600481		
法人名	社会福祉法人 秀峯会		
事業所名	グループホーム 清風		
所在地	長崎県五島市武家屋敷1丁目5番47号		
自己評価作成日	平成24年11月1日	評価結果市町受理日	平成24年12月19日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所一階
訪問調査日	平成24年11月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員の質の向上、統一したケアを目標に、現場に即した勉強会を計画し活用できるように取り組んでいます。

環境(バリアフリー)を活かし残存機能の活用、双方の介護負担を軽減に努めています。

職員間の申し送りの徹底、特に、定期、急変時の受診などの記録を行い、関係機関との情報交換、提供を行ったり、ご家族様への報告など日頃の利用者様の健康管理に努めています。

年2回の人事考課を行い自己啓発に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

管理者は、ホームの理念に沿って利用者との信頼関係の構築を大切にされており、職員研修による接遇向上や職員間の意思疎通にも配慮されチームワークも良い。

一年前に現在地へ新築移転の事業所であり地域密着に向けて積極的に取り組まれており、職員、利用者双方が仲良く笑顔で寄り添う明るく家庭的なホームである。併設にデイサービス事業所があり連携体制が確立し利用者、家族にとって安心感のあるホームであり、最新式の浴槽、バリアフリー構造、各居室にトイレ完備でハード面も整備されている。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念を基に事業所の理念を掲げ、新しい地域（環境）で、馴染みの利用者様と職員と一緒に、穏やかな日常生活を送れるように取り組んでいる。	理念『清らかな風吹く武家屋敷通りで仲良く笑って元気に過ごせるグループホーム清風』は職員皆で話し合い作成した。ホール内に利用者直筆で書かれた書面を掲示し利用者、職員全員で共有を図っている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域への施設の存在の周知に取り組んでいる。近所の方達には積極的に挨拶を交わしたり、町内会にも入会し、引き継ぎの会議に参加をしている。毎月、回覧板も順番に回覧されている。	移転に伴い、地域に馴染む取組の一環として事業所敷地内に地域のゴミ箱設置を地区有識者と協議の上、市役所へ提案された。町内会へ加入して、各種行事、自治会会議など積極的に参加されている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近くの調剤薬局を利用しており、内服薬において細やかな情報を得ている。デイサービスが併設している事もあり、随時の見学もあり、施設の案内、説明を行っている。又、地区の会議などの開催場所の提供も申し出ている。			
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動報告は、スケジュールの実施録を見て頂き、サービス提供の実際を伝えている。利用者様も参加し、助言、意見なども柔軟に受け止め、サービスの向上に努めている。全職員に報告している。	利用者家族には全員案内を行い都合のつく家族の出席を戴いている。随時併設のデイサービス職員の参加もある。民生委員よりボランティア受入提案、地区内在宅老人の情報等戴いている。会議報告は事業所便りと一緒に郵送している。		
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の長寿介護課の担当者への随時の書類提出や相談を行っている。包括支援センター、各社協とも必要な情報収集や相談を行っている。	市役所窓口、地域包括支援センター、社協と定期、随時に相談、情報交換を行っており良好な関係が出来ている。社協の紹介で困難事例の受入実績もある。		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の勉強会を行い、「具体的な行為」を理解し拘束をしない対応に努めている。ご家族様にも、運営推進会議で勉強会を行うなど理解して頂いている。</p>	<p>身体拘束ゼロの指針を掲げ、定期的に勉強会を開催し意識の徹底に努めている。夜間を除き玄関の施錠は行わず職員の見守りにより対応している。家族から安全対策としての拘束申出があれば見守り対応の説明を行っている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>組織全体で虐待防止委員会がある。組織全体で高齢者虐待法に関する理解や知識を深めている。普段より、世間での虐待のニュースも意識したり、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している</p>	<p>機会があるごとに職員への説明を行っている。対応が必要な利用者があるので活用。ご家族とその担当者との連携をとり支援を行っている。権利擁護の知識として理解を深めている。又、成年後見人制度も同様に行っている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、質問にも応じたり、理解できるように説明している。利用料金の内訳、重度化になられた場合、医療連携体制等の加算についても説明し、納得して頂き同意書を得るようにしている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃の面会時、電話での対応時（緊急時、荷物が届いた時等、様子伺いの電話）職員がご利用者様の状態把握を行い、どの職員でも対応できるようにしている。又、意見、要望が出しやすい雰囲気作り、玄関には意見設置箱もある。</p>	<p>運営推進会議、面会時、電話、各種行事で来所時等随時意見交換を行っている。全職員が接遇に配慮し、話し易い雰囲気作りを心がけている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議を行っている。日頃のコミュニケーションを十分に取ながら連携を円滑にしている。連絡帳の活用、日々の記録を通し、情報を共有するようにしている。取り決めを行い、業務マニュアル化し、統一したサービス提供に努めている。</p>	<p>ホーム独自の職員会議を毎月開催し、意見提案の聞き取りに配慮されている。場面場面での支援方法につき職員全員で話し合い、取り決めを文書化し全員に配布している。管理者は職員全員と年2回の面談もしている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行っている。資格取得後の手当で等もある。人事考課を一年に2回実施。自己啓発、職務への意識を高め、質の向上に取り組んでいる。永年勤続者の海外研修等レクリエーションもある。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間通しての研修会を計画し、知識や技術を習得できる体制を整えている。外部への研修参加を行い、その内容についても伝達報告している。職員の得意、不得意を把握し、その意欲を大切にしている。知り得た知識は教え合っている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会には参加し研修をしている。他施設との情報交換を行っている。又、同法人内のグループホームとも密に連絡を取り合い、相談しあっている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前の面接を行い、本人に要する情報把握に努めている。又、ご家族や担当ケアマネジャーとも連携し、安心して生活が送れるように支援している。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>本人との面接に立ち会って頂き、情報を得るようにしている。いつでも家族様の相談に応じている。信頼関係づくりを継続できるように努めている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族の実態や要望を伺い、必要に応じて他のサービス利用の調整を行ったり、他の職種との連携を図りながら柔軟な対応に努めている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の思いに関心を寄せ、その方に合った楽しみや話題づくりを心がけている。個人の能力を発揮できる事で、お互いに支えあう関係作りに努めている。和やかな生活ができるように場面作りや声かけをしている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会、電話、毎月のグループ便りでは日頃の生活の様子を家族に詳しく伝え、ご家族と一緒に支えていく関係を築いていけるように支援している。急変時の対応についても、確実に連絡がとれる方法をとっている。各行事参加への協力を得ている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場所との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>ご家族様の協力を得て、自宅までの外出、外泊をしたり、一緒に自宅で過ごして頂いている。毎週、一度の家族様そらつての面会や近所の知人の面会もある。関わりのある方の関係の継続を見守っている。（敬老の日には、自宅の町内会長様が直接お祝いを届けて下さる）</p>	<p>馴染みの理髪店への同行支援、近親者の葬儀参列支援、墓参り、知人友人の事業所への定期的面会等関係継続の支援を行われており、また、帰宅支援もご家族の都合を聞きながら支援されている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>日常生活において、お茶の時間、余暇時間等は、利用者同志のコミュニケーションを大切にしている。（利用者様同士の境遇をお互い、理解できるようにしている）。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>状況を考慮し、臨機応変対応している。面会に伺い、その後の様子観察を行っている。入所中に、築きあげた信頼関係を継続するように努力している。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>出来る限り、本人の気持ちを大切に尊重している。意思疎通が困難な方には、ペースや状態に注意し、ご家族や関係者から情報を得るようにして、協力をお願いしている。</p>	<p>日々の支援を通し、思いの把握に努めている。意思表示が困難な利用者については表情、動作を注視し気付きは申送りノート等に記録し、職員間で共有している。</p>	

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>自宅に事前調査に伺い、ご本人、ご家族、関係者などから情報を得るようにしている。入居後も面会時、電話等で関係機関やご家族から情報を提供していただき、共に安心して生活できるように努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>生活のリズムを把握したり、趣味活動、生活習慣等日頃の生活の様子から全体像を把握するようにしている。好きな事、できること、得意としていた事等、安定した日常を送れるように支援している。心身の状態の変化には早急に対応できるようにしている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>事前に本人、家族の思いや希望を伺ったり、関係機関からの情報、職員間の情報を得ながらケアプランを立案している。計画内容についてはファイルにして全職員がいつでも見れるようにしている。</p>	<p>事前に利用者、家族の意向を把握し主治医、看護師等の意見を聞き、全職員で話し合い作成している。日々のケース記録、申送りノート等に支援内容を記録し、課題を職員間で共有する事でプラン作りのベースとなっている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別にファイルを作成し、必要な情報は保管している。職員の気づきや利用者の状態変化は、申し送りノートや、日々の記録している。必要に応じ、話し合いしてそれを活用したケアを行っている。。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の状況に応じ、臨機応変に柔軟に対応している。医療連携体制を活用して、受診や、入院の回避、早期退院の支援、医療処置を受けながらの生活の継続を支援している。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近辺に警察署があり、施設の情報提供(巡回含む)している。年4回の避難訓練や(自主訓練含む)、器具の点検を行っている。又、学校があり、生徒の声やチャイムなどが聞こえたり環境面でも楽しんでいる。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医院があり、毎月一回の受診をしている。訪問看護も毎週一回。何かあれば相談など密な連携を図っている。年1度の健康診断、インフルエンザ接種なども行い、急変時においても適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>希望のかかりつけ医受診は可能であるが、現在全員ホームの協力医受診である。受診時は職員が同行支援している。個人毎に受診記録を作成し随時家族への情報提供を行っている。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>当事業所にも準看護師、併設のデイサービスにも看護師がいる。又、訪問看護もあり、気づきなどの情報を伝え、普段の健康状態を観察している。</p>		

32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時の本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供している。入院中の面会を行い、回復状況を医療機関、ご家族とも情報交換を行っている。速やかな退院支援に向けて必要な支援をしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化指針については、ホーム内でできる最大ケアについて説明している。状態の変化があるごとに、家族や本人安心して頂けるように、（遠方である場合は、状態報告を手紙など書いて報告する等）支援している。</p>	<p>家族の要望があれば、出来る範囲の支援は行う方針である。法人内に看取り経験者もおりメンタル面での職員研修も行われており緊急時の連絡体制も確立している。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>施設全体で、救急・応急の訓練を実施。職員も参加し、体験、体得、習得するようにしている。（消防署・救急救命士の指導）施設全体で緊急時のマニュアルを作成し、急変時や、事故発生時に備えており、どの職員でも対応できるようにしている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、消防署の協力を得て年2回総合訓練を行っている。火災に備え、消火器、自動通報装置、スプリンクラーを設置。災害後の体制についてもライフラインの確保（お薬手帳、情報を記載したネームプレート、非常食、避難場所）など行っている。</p>	<p>併設のデイサービス事業所と合同で消防署立会いの下訓練を行っている。備蓄、緊急時持出し用情報カードも完備している。また、避難場所は近隣の小学校を確保し近隣住民との協力体制も構築している。</p>	<p>避難場所は確保されているが、避難場所の家族への伝達が災害時の利用者の安否確認に繋がることからホーム便り等活用しての周知に期待したい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し言葉かけ、さりげない介助を行っている。利用者のプライバシーの確保に努め、接遇面においては随時に指導を行っている。	接遇研修等を通し利用者本位の姿勢を学び思いやりを持った支援、語気に注意し命令口調にならない声掛けに心がけている。管理者はその都度気づいた点を話合っている。個人情報事務所内所定の場所に保管し管理している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その日、その時の本人の気持ちを尊重し、趣味活動等も無理強いないで、少しでもできるように意欲向上へ向けて支援をおこなうようにしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースで、本人が望む過ごし方が出来るように支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの美容室からの出張があり、好みの髪型を希望している。衣服についても、好みの衣服を着ていただくようにしている。(家族からの贈り物の衣服等)		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むき、箸配りなど食事をするまでの過程動作を行ってもらい、食事への楽しみを大切にしている。ミニ菜園では、野菜を栽培し、収穫の喜びを味わっている。料理の仕方を教えて頂いている。	職員が交代で調理しており皮むき等出来る範囲で利用者と一緒に作業している。利用者の希望は随時取入れており、ホーム内のミニ菜園で取れた野菜も食材として活用している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人、お一人の、栄養状態を、食材、形態、食事時間などに工夫している。一日全体を通じて、記録しおおよそ把握している。個々の嗜好物も大切にしている。食事摂取が困難な時は、主治医へ相談している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声かけを行い、その方に応じて職員が見守ったり、介助を行っている。就寝前は、義歯の洗浄を行なっている。必要時には、ご家族にも相談、報告を行い、歯科受診をできる体制をとっている。協力歯科医院もある。		

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄状況の把握をしている。なるべくトイレで排泄を行えるように誘導している。パットの使用量を減らしたり、その方に合った排泄の自立に向けて取り組んでいる。トイレで排泄する事で、快適に過ごせるように支援している。</p>	<p>チェックリストにより排泄パターンを把握し声掛け誘導で自立に向けた支援を行っている。夜間も見回りによるオムツ交換、ポータブル誘導等個別の支援を行っている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>その方の通常の排便状態を把握し、排便できるようにしている。食材、水分摂取、適度な運動を勧めたり、便秘時の体調、行動に注意している。異常時は、随時に主治医へ報告したり、スムーズに排便できるようにしている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>機械個室で、ゆっくりとした姿勢で浴槽に入浴できる設備。浴室、脱衣室は適度の気温調整ができる。生活習慣、希望なども伺いながら対応し、入浴を楽しんで頂いている。介助負担の軽減にもなっている。</p>	<p>基本的に職員一人での対応であり、希望により毎日の入浴も可能である。利用者毎に曜日を決めており入浴順も配慮している。最新式の浴槽で快適な入浴と介助者の負担軽減が図られ、清潔な設備が特徴である。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>毎日の睡眠状態、日中の様子を把握し、不眠の原因を受け止めている。一緒に過ごし、会話、水分補給等気分の安定に努めている。又、日中は離床し、活動できるように働きかけ、安眠できるようにしている</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>主治医、調剤薬局と密な情報交換をしている。お薬手帳の重要性、薬の目的又、安心して内服できるように指示を受けている。お薬が変わった場合でも、混乱しないように確実な内服に努めている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>その方の趣味、得意とする事を情報を活用し、気分転換できるようにしている。「何かをしたい、してほしい」気持ちを言える雰囲気を作り、楽しみのある日常生活になるよう努めている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天候、本人の気分や希望に応じて、買い物、ドライブ、散歩に誘っている。本人様に合わせた方法で外出の支援を行っている。</p>	<p>利用者の生活暦も考慮し本人主体に買物、散歩等、利用者の気分と様子を見て外出支援をされている。ホームの年間行事に合わせてドライブにも出かけている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>財布を持参する事、ご自分で支払いをする事で安心されている。スタッフは、その方の力量を理解して、金銭管理への支援を行っている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>特に、電話利用時には、スタッフも傍にいて話を聞いたりしないようにしている。利用者様の希望に応じて、日常的に電話や手書きを出せるように支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間には、観葉植物、手作りのぬいぐるみ等置き家庭的な雰囲気になるように配慮している。対面式の台所から見渡せ、食事作りの様子もわかる。長いソファに座り、くつろぎながら、足裏マッサージ等行っている。ラジオ、テレビ、BGMの効果も活用し、居心地よく過ごせる工夫をしている。。</p>	<p>職員との対面式の厨房は、利用者へ安心感を与え利用者の見守りに繋がる作りとなっている。共用空間には観葉植物や各コーナーに談笑用のソファや椅子の配置がなされ、明るい新築の共用空間でゆったりと過ごされており、トイレ、浴室も清潔に保たれている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>要所には、椅子、長椅子を用意し、一人で景色を見て過ごしたり、時間帯に応じて、テレビをつけたり、BGMもその場の雰囲気にあった曲を流したり、ラジオをつけている。簡単な作業をしながらゆっくりと仲間同士で過ごして頂いたりしている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や使い慣れた日用品、好きな雑誌、使い慣れた眼鏡、手工芸用品を持ち込んで、本人が居心地よく過ごしやすいようにしている。ご家族の思いもあり、直接持ち込んだりされたりしている。持ち込みのテレビを自由に鑑賞している。	利用者の希望により愛用の品、テレビ等自由に持込まれている。家族の意向で畳を持ち込まれているの部屋もあり、各人各様の趣向で使用されている。各居室には、トイレも完備され、掃出し窓で明るく開放感のある居室である。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内、外はバリアフリー、要所に応じて設置している。居室にいたい気持ち、みんなと一緒にいたい気持ちを大切にしている。し、自尊心を重視、したいこと、できることを支援している。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない